

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0570107664		
法人名	社会福祉法人 成光会		
事業所名	認知症高齢者施設 グループホームひふみ		
所在地	秋田市上北手百崎字ニタ子沢1-6		
自己評価作成日	令和6年10月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.akita-csw.org/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	秋田県社会福祉士会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	令和6年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2002年に開設した認知症高齢者施設です。高台の自然豊かな場所にあり四季折々の景色を楽しむことができます。「ゆとり、いたわり、思いやり」を基本姿勢とし2023年に「秋田県介護サービス認証」を取得しています。

家庭的な環境の中で一人一人が役割を持ちともに支え合いながら生活しています職員は全員が有資格者で利用者様の心に寄り添ったケアを提供できるよう日々努力しています。

施設は、自然の中にあり、自然の変化を常を感じる事ができる。同じ敷地内に法人の介護老人保健施設があり、医療面も万全の環境にある。職員と利用者は全員女性でゆったりした時間を過ごし、「ゆとり いたわり 思いやり」の基本理念のもと、家庭的な環境で、一人ひとりに見合った支援を実践している。職員は専門知識と技術を日々活かし、その人の「自分らしさ」を維持できる様ケアを実践している。職員、利用者とも女性であることで、家族からも安心の声もある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ゆとり、いたわり、思いやりを基本姿勢とし、全職員が共有出来ており、入居者様の尊厳ある安心で自由な暮らしの為、パーソンセンタードケアを基本とし実践している。	事業所の基本理念「ゆとり、いたわり、思いやり」をホームページやパンフレットに明記、その他事務室に掲示し職員間で共有している。利用者を一人の人間として尊重し、一人ひとりの立場に立った支援を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	食材の購入はスーパーや直売所等に外出している。日赤短大の介護実習を受け入れている。上北手地区の敬老会参加や以前住んでいた自宅周囲を見に行ったりと、大変喜ばれている。	地区の行事に参加し、ほぼ毎日近隣に買い物で外出している。また、農閑期に、近隣の方が窓拭きのボランティアに来てくれる他、介護実習生の受け入れ等地域とのつながりがある。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	ケアローソンにてイベント企画し、認知症について幅広く地域の人々と交流し理解して頂ける様努め、地域貢献している。地域の医院に家族と一緒に受診して頂いている。歯科往診も利用している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センターや地域代表からも情報提供して頂いている。日常生活の様子、事故、ヒヤリハット報告、身体拘束等報告し、不明な点はいつでも相談を受け、丁寧な対応を心掛けている。	会議には利用者全員、地域包括支援センター、家族、地域代表などが出席し、事業所の取り組み状況などの報告、話し合いが行われている。運営推進会議の日程を予め配布し、会議に出席できる様工夫している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所の出前講座を利用している。報告事項がある場合は速やかに連絡、相談を行っている。	市からの情報はメールで届き、連絡、相談、アンケートなどもメールで対応している。事業所の空き情報など報告事項がある場合は、迅速に報告し連携している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束、虐待防止委員会が中心となり、年4回実施している。職員は拘束による弊害と緊急やむおえない状況も理解している。防犯上夜間は施錠している。 ケアパートナーズの行われている「身体拘束防止」「高齢者虐待防止」の研修に参加している。	運営規程に「身体拘束に関する事項」、「虐待防止のための措置に関する事項」が明記されている。身体拘束、虐待防止委員会が中心となり、年4回研修、その後委員会を開催し、職員は理解し共有している。また、市の身体拘束防止及び虐待防止の出前講座を受講している。	
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	秋田市からメールで届いた権利擁護についてのパンフレットを印刷し配布している。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に契約書、重要事項証明書に目を通して頂き、不明な点は都度丁寧に説明している。		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	面会時「用件伝達シート」を活用し情報を伝達している。「ひふみのひととき」を発行し家族との関係を大切にしている。家族への手紙でも要望を確認している。	面会時に家族からの意見や要望を聞き「用件伝達シート」に記入し、職員間で共有している。年6回、写真を添えて家族へ手紙を送り要望を聞いている。また、運営推進会議も家族の意見等を聞く機会となっている。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	計画を提示し個別の目標を達成できるよう計画している。業務改善計画書に意見や提案を記入し、職員間で話し合う場を設け、職員の意見を反映できるように取り組んでいる。業務改善に努めている。	職員が業務改善計画書に意見や提案を記入し、職員間で話し合い、出来る事はすぐ改善し、改善結果を記載している。職員の意見を反映して業務改善に努めている。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会からの情報や市内のグループホーム協会(ケアパートナーズ)等を通して情報交換や研修に出席して顔の見える関係を作っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に施設の見学及び面談を行い、担当ケアマネジャー等から事前に生活歴の情報を得、入居後の生活に役立てている。担当ケアマネジャーからも情報をいただいている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望等を「入居事前調査報告書」に記載し、スタッフ全員が把握している。入居後の様子も電話や面会時に報告している。		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活をする中で本人が出来る事を見つけ、家事を一緒に行っている。入居者同士の関係に配慮しながら声掛けを行っている。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話やメール、手紙等でのやりとりがある。面会は県・市の指導に基づき、随時行っている。「ひふみのひととき」を発行し日頃の様子を伝えている。		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	受診や買い物、ドライブ等でご家族と一緒に外出をしてもらっている。地域の敬老会への参加や歯科往診など外部との交流がある。携帯の持ち込みもあり、直接家族と連絡のやり取りがある。母の日にはご家族からメッセージをいただいている。	面会に制限はない。また、家族と一緒に、受診、買い物、ドライブなどに外出している。遠方の家族には、行事や生活の様子の写真を添えて手紙を送り、関係の継続を支援をしている。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ほぼ全員がリビングで過ごすことが多く、入居者同士声を掛け合ったり、談話したりしている姿が見られる。共同生活が乱れないよう必要時、職員が間に入りフォローを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時にサマリーをお渡しし、継続的に介護が出来るよう支援に努めている。退居者の御家族からお礼のハガキや連絡等を頂いている。退居後も荷物を預かり、都合の良い時に取りに来れ、感謝をされている。		
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	生活の中で何を求めているのか日々の会話や表情からくみ取る努力をしている。意志や意向が上手く表現できない方にはパーソンセンタードケアをもとにその人の立場に立ち意向を把握している。生い立ちや元々の性格、傾向を把握する事で入居者様が混乱した際の対応へつながり、入居者様同士の声掛けが本人の安心へとつながっている。	パーソンセンタードケアの基本である、「その人らしさを維持し尊重する」の取り組みとして、利用者の生い立ちや価値観、ライフスタイルを考慮し、日々の会話や表情から、その人の立場に立って思いや意向を汲み取るよう努めている。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やケアマネージャー等からそれまでの生活状況をお聞きし、ご家族でも分からない生活歴等はご本人との会話等から情報を得ている。		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	要望等は毎月のカンファレンス、ご本人参加の月1回のケアカンファレンス、生活リハビリ表等を参考にし計画を立てている。情報収集を通じて「その人らしさ」とは何かを検討し、こころと身体の両面から食生活、生活リズム、医療などの介助方法を職員間で統一する事でその人らしさを取り戻されるように努めている。	毎日2名ずつカンファレンスを実施、毎月本人参加のケアカンファレンスを開催している。温度表から生活状況と、隣接の施設のPT、OTの生活機能評価表をもとに、その時の症状が継続するかを見極め、現状に即した個別介護計画を作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	フォーカスチャート式の記録をし、いつ誰が見ても分かり易く、情報共有に繋げている。温度表にアクティビティの参加状況、受診、臨時薬や処方変更等があった場合には記入し、分かり易くしている。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日赤短大、地域包括支援センター、グループホーム協会との交流。老健のリハビリ担当者等にベッドやシルバーカー使用について相談している。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診前に心配な事をお伝えし、改善に繋がるようにしている。歯科往診を利用し、本人、家族への負担を軽減している。入居前からのかかりつけ医の継続と家族の通院付き添いを基本としているが、希望や事情によってかかりつけ医を変更する事もある。入居前からのなじみの薬局を継続して利用している。内服薬配達サービスも利用し家族の負担軽減を図っている。	入所後もかかりつけ医を継続することと家族の受診付き添いを基本としている。入所前からの薬局を継続している利用者や、内服薬配達サービスを利用している利用者もいる。他に、歯科往診も利用し家族の負担軽減に繋がっている。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師2名が勤務しており、体調管理を行っている。体調に変化があった時には早めにご家族と連絡を取り、一緒に受診している。救外受診時は同行してる。		
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	退居時にサマリーをお渡しし、継続的に介護が出来るよう支援に努めている。緊急時やご家族が付き添えない時は受診に同行し、直接情報を伝えている。入院中は医療相談室と連携し次の施設入所に繋げている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りについては重要事項説明書に記載し、入居時に説明し同意を得ている。要介護3になったら希望の施設に申し込み、次の生活の場へのスムーズな移動を支援している。	入所時に看取りについては、重要事項説明書に記載し、家族に説明し同意を得ている。要介護度3になった時点で、希望の施設に申し込みをお願いしているが、できる範囲で家族の要望に沿った支援をしている。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に緊急時や事故発生時の対処法を確認している。 認知症ケア研修で秋田市消防署職員と一緒に救命の実技を研修している。		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人と一緒にBCP策定をし避難訓練を定期的に実施している。業者による消防設備点検も行われている。防災委員会では備蓄の管理や防災食作りの訓練もしている。	BCPを策定し、年2回、1回は夜間想定避難訓練を実施している。さらに、防災委員会を設置し、備蓄(3日分)や防災食作り等の訓練を行うなど災害対策に取り組んでいる。	
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	パーソンセンタードケアの考えに基づき、入居者様一人ひとりの思いに寄り添って、個別ケアを大切にしている。認知症基本法の基本理念も大事にしている。	利用者一人ひとりの個性やニーズに合わせた個別ケアを行っている。一人ひとりに寄り添い、「～さん」と誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けがされている。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧している方は、化粧品の補充を行い身だしなみを整えている。どんな洋服を着たいか、確認しながら準備するお手伝いをしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	リクエスト食を取り入れたりなど、献立を作る時に入居者様の好きな物を心がけている。季節の旬の食材を使用したり行事食も楽しんでいただいている。お茶入れや配膳、食器洗いなど利用者様と共に行っている。	食事は、利用者全員椅子に座り姿勢を保持し自立摂取している。三食とも事業所内で調理しており、利用者の希望も取り入れ、特に喜ばれたメニューを写真に記録している。利用者も積極的に食事の準備や配膳などを行っている。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事量をチェックし、月初めに体重をチェックし管理している。体調や状態に応じた食形態にし、水分不足にならないように適宜水分補給を心掛けている。本人希望の飲み物も取り入れている。		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	秋田市からメールで届いた権利擁護についてのパンフレットを印刷し配布している。Ty		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	可能な限りトイレでの支援をしている。利用者ひとり一人の排泄パターンの把握に努め、トイレのサインを見逃さないようにし、誘導も行っている。ほとんどの入居者様がトイレで排泄されています。	排泄はチェック表で一人ひとりのパターンを把握している。リハパンの利用者は2名いるが、他の利用者は自立して排泄ができている。トイレのサインを見逃さない様に誘導し、排泄の自立支援を行っている。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘のメカニズムを理解し水分補給、毎日の運動と乳製品や食物繊維を取り入れた食事の工夫をしている。また、オリゴ糖なども利用している。排便状態も記録し、便秘にならないよう管理している。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は日曜日以外実施。入居者の体調や睡眠状態、食事量を考慮しつつ、個々に合った対応を心掛けながら安全に配慮し、入浴を行っている。	入浴は午前中に週2回3名ずつとしているが、利用者の希望や健康状態など個々に応じて入浴を楽しめるようにしている。入浴を好まない利用者も、他の利用者の声掛けによって楽しんで入浴できている。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々に合わせ、日中のアクティビティや散歩を取り入れ、安眠出来るように工夫している。不眠、不穏時は傾聴にて対応し、入居者の不安を取り除けるよう、寄り添っている。		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	飲み忘れやミスを防ぐ為、複数回チェックを行っている。副作用が疑われる場合、医療機関や薬局へ問い合わせ、指示を受けている。又、不要な薬の服用を防ぐ為、医師との情報交換も行っている。日誌、療養記録、カンファレンス等で情報共有に努めている。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の得意な事を活かし、一緒に楽しみながら家事参加を実施。役割を持つことで自信へと繋っている。又、中庭で花を育てたり、中庭を通る野生動物を見て楽しんでいる。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	県の警戒レベルや周囲の状況に合わせ、面会や外出を工夫しながら行っている。コロナ緩和に合わせ、ドライブや買い物等、状況を見ながら行っている。	家族と一緒に受診で外出している他、ドライブで男鹿や天王、雄和のダリヤ園にも出かけている。できるだけ、外出の機会を作って戸外に出かけられるよう支援している。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かり金として管理し、必要な物がある場合は職員が代行購入している。コロナ渦の為自粛していたが、緩和に合わせて、状況を見ながら一緒に買い物をしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ハイター液、アルコール等で毎日消毒している。居室は畳の為家族も宿泊出来るようになっているが、感染予防の為、現在は自粛している。又、中庭に花を植えたり、入居者の展示物等で季節を感じて頂いている。	共有空間は、毎日清掃し清潔が保たれている。リビングはゆったりくつろげるソファが置かれ、窓は大きなキャンパスになっていて季節の変化が楽しめ、その中で利用者は思い思いの時間を過ごしている。	
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでテレビを観ながら会話をしたり、居室で静養したりと入居者が自由に過ごせるような居場所作りをしている。		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が安心して居室で過ごしてもらえるようになじみの物や好みの物を置いている。	居室は、畳の部屋になっているが、内履きの脱着リスクを考慮し、内履きのまま過ごせる様配慮している。居室は、本人の使い慣れたものや好みの物、壁には工作物が飾られ、心地よく過ごせるよう工夫されている。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下に手すりを設置し、安全に自立した生活が送れるよう配慮している。		